

(案)

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会 (第 65 回)
議事概要【電子メールによる検討】

1 日時

令和 3 年 5 月 13 日(木) ～ 令和 3 年 5 月 20 日(木)

2 場所

電子メールを用いて検討

3 出席者(敬称略)

主 査：安藤 真

主査代理：豊嶋 守生 (5 月 14 日から)

委 員：森川 博之

専門委員：秋山 裕子、飯塚 留美、伊藤 数子、河野 隆二、児玉 俊介、
齋藤 一賢、田中 秀一、田丸 健三郎、土田 健一、日野岳 充、
藤井 威生、藤野 義之、本多 美雄、松尾 綾子、三谷 政昭、三次 仁、
吉田 貴容美

事務局 (総務省)：総務省 移動通信課 第一技術係

総務省 基幹通信室 第一マイクロ通信係

4 配布資料

資料番号	資料名	作成者
資料 65-1	陸上無線通信委員会 (第 64 回) 議事概要 (案)	事務局
資料 65-2-1	陸上無線通信委員会報告案 (11/15/18GHz 帯固定通信システムの高度化に係る技術的条件)	基幹系無線システム 作業班
資料 65-2-2	陸上無線通信委員会報告案 概要 (11/15/18GHz 帯固定通信システムの高度化に係る技術的条件)	基幹系無線システム 作業班
資料 65-2-3	陸上無線通信委員会報告案 (11/15/18GHz 帯固定通信システムの高度化に係る技術的条件) に対する意見募集の結果等について	基幹系無線システム 作業班
資料 65-2-5	参考資料：報告書案修正箇所一覧	基幹系無線システム 作業班

5 議事

(1) 前回の議事録案の確認

資料 65-1 に基づき、事務局より説明が行われ、(案)のとおり承認された。

(2) 委員会報告(案)「11/15/18GHz 帯固定通信システムの高度化に係る技術的条件」に対する意見募集の結果等について

資料 65-2-1、資料 65-2-2、資料 65-2-3、資料 65-2-4、及び資料 65-2-5 に基づき、事務局より説明され、報告書は承認され、5 月期の情報通信技術分科会へ報告を行うこととした。

主な質疑応答の概要は以下のとおり。

ア 三次専門委員からの意見

・概要 4 ページにはアンテナ端 CN と NF を足した受信感度を導入とあるが、本文では CIR については現行通りとなっている。受信感度を導入した場合、設計の柔軟性は高まるものの与干渉検討する際に NF がわからないと許容値が計算できず困る。この点で本文の CIR は現行通りという点が重要だと思うので、概要にも付記したほうがよろしいと思う。

・概要 1 ページ目の「基地局受け」という言葉が正しいのかよくわからなかった。

【事務局回答】

ご指摘ありがとうございます。

ご指摘を頂いた、本文中に記載の「被干渉の C/I の許容値については現行方式より規定を変更しないこととした。」の内容につきまして概要版にも記載するようにさせていただきます。

また、「基地局受け」については「基地局向け」の誤りでした。大変失礼致しました。

誤字として修正させていただきます。

(3) その他

上記案件(2)について、5 月期の情報通信技術分科会へ報告を行う予定。陸上無線通信委員会終了後の報告書等の軽微な修正については主査に一任することとした。

(以 上)